

わんぱく学園ニュース

平成20年 5～6月号 No136

2～3枚の楕円形の葉の間から短い花の茎を出し、その上の方に白い小さな風鈴のような花…そう…すずらんの花が咲く頃……。清らかな芳香を放つ。君影草とも言うとか……。

「君影草 陽かげよりそい 香をはなつ」～垣

花でいっぱい

久多美小学校 校長 原 孝治

風薫る五月です。見渡す限りどこもかしこも、花と緑でいっぱいです。こんな情景を見ると、花と緑も、実は、光り輝きたくてうずうずして、だから温かさや陽の光を求めているのだなあと思つづくと思います。色とりどりの花が、集団の中で俺も頑張っているぞう、私を見てくださいと言いながら咲いています。

ところが、最近、チューリップなどの花が何十本、何百本と引き抜かれ切り取られている出来事が日本各地で頻発しています。また、私たちの身近なところでも、花びらをちぎったり、花壇を踏みつけたりされているところを時々見かけます。これは、“心無い人たちのいたずら”ではすまされない事態です。育てている人たちからみれば、怒り怒髪(どわ)をつくぐらい頭へくることですし、今こうやって書くのも癪(しゃく)に障(さ)ることです。何も言わない無抵抗の花がいつも簡単に踏みにじられる、ということは、抵抗できない人や子どもたちもそんな目にあうのだろうか、といやなことを思ってしまう。

子どもたちは元来、花や虫が好きです。うらやましい限りです。遊んでいる子どもたちの会話をそばで聞いていると、「わあ、かわいい」「動いた、動いた」と叫んでいます。そのくせ、花びらをちぎったり、小さい虫を足で踏んづけたりもします。どちらかだけを見ていると、子ども全体を純粹無垢な存在に思ったり、その反対に恐いなあと感じたりするものです。

しかし、子どもは両面を持ち合わせた存在でもあるのです。そこを、経験的法則というか、子ども同士遊ぶ中で、あるいは大人とのかかわりの中でやっていいこと・いけないこと、してほしいこと・してあげたいことを学習してくるものだと思います。

以前、『早く読まないで大人になっちゃう』という読むべきときに読むべき本を、という読書推奨のキャッチコピーがありました。適時性というか、まさに遊ぶべきときに遊ばないと、触れ合うときに一緒に触れ合わないと、大人になっても大切なチューリップを踏みにじってしまうようなことになってしまいます。

変化が目に見えて分かる今の時代、忙しい子どもたちにどう関わってやっていったらよいか。それは、決して、悩ましいことではないと思います。わが子だけではなく、関わっているすべての子どもに愛情を注ぎ、大切にされていると実感させることでしょう。そして、「うまいへた」「出来る出来ない」で見るのではなく、「あんたはすごい！」s(絶対評価的に)その子を認めてやることでしょう。そうして、それぞれに成長していく過程で自尊心が芽生え、試練にも立ち向かい、いろいろな人を理解していくことができいくものと思います。

まずは、一緒に生活していく体験を持たせること、大人はそういう場を作ってやることだと思います。

さて、4月に楽しんだ『学園』の遊びの一部を紹介いたします

竹の子ほり



4月27日、心地よい日差しが照り、この季節にしては暖かい風が吹く日曜日の朝、私は平日の疲れを癒すべく平田の実家に帰ってきました。すると姉の運転する車が、小学生になったばかりの長男を乗せて、ほぼ同時に駐車場に着きました。「竹の子を掘りに行くんだけど、一緒に行かない?」。このところ甥と遊ぶ機会がめっきり減り、少なからず寂しい思いもあった私は、一緒に行こうと決めました。わんぱく学園のイベントに参加させていただくのは、長坂先生の「おちらとコンサート」以来、二回目になりました。

向かう先は久多美の山の中、土江和世先生のご実家の裏にある竹林を提供して頂きました。土江先生のお兄様、原周弘さんが現場で待っていて下さいました。参加者はこども達とその親御さんやスタッフの方々など、合わせて十数名となりました。さあ掘るゾと、大人もこどもも張り切って掘り始めました。できるだけ状態のいいものを狙って掘ろうとするものの、竹の子掘りの経験が殆どない私にはなかなかうまく掘ることができず、莖の途中でぼきんと折れてしまう事もしばしばでした。しかし、休憩を挟んで二時間弱の間掘り続け、集めてみると竹の子の大きな山ができて大満足、各家庭の代表のこども達によるじゃんけんで、平等に分配となりました。掘り終わった後は、用意してきた弁当を食べながら皆でお話をして、愉快的ひと時を過ごしました。また、原周弘さんが飲み物やおやつを用意して下さい、おいしく頂きました。むさ苦しいオジサンの私としては、少しばかり周囲から浮くのではないかと危惧しておりました。しかしそれも杞憂におわり、こども達は「そんなの関係ネェ」とばかり、私とも仲良くしてくれました。近くにある牛小屋をコッソリ覗きに行ったり、羽化したばかりのトンボを田んぼで見つけて触ってみたり…。又土江先生には、幼稚園時にお世話になっていた事もあり、何だか心地よい懐かしさを感じさせる雰囲気の中で、大いに楽しみました。そして、何より普段こどもと接する機会の少ない私にとって、こども達の瑞々しい感性に触れる機会となり、とても新鮮で楽しいひと時となりました。勿論参加したこども達にとっても、春の日の楽しい思い出の一つになったのではないかなと思います。こども達をはじめ参加された皆様、原周弘さん、そしてスタッフの皆様、楽しいひと時をありがとうございました。(記 岡 達郎)

わんぱく豆辞典

竹の子の効用

ビタミンB2、ビタミンC、カルシウム、鉄分などで、特に食物繊維が豊富です。ストレスに強いアミノ酸やチロシンを多く含み、脳を活性化する効用もあるんですって!。

◆5月・6月の「わんぱく学園」のメニューは下記の通りです。

5月 11日	陶芸あそび(担当:安食ひら・土江継) ・場所 アトリエ「おちらと」 ・粘土遊びの後、おむすびお漬物パーティー ※ライオンズクラブとの協賛・待ちちょるけんネ
18日	ラーメンを作って食べない?(担当:田中修・土江継) ・場所 アトリエ「おちらと」 ※材料費200円
25日	河下海岸で魚釣りして遊ぼう!(担当:福田繪・尾原圭子) ・水筒持参・釣竿ある人は持って来てね・餌は学園で準備 ※魚釣りしながら、ごみ拾いもしようか?
6月 1日	陶芸あそび(担当:安食ひら・土江継) ・場所 アトリエ「おちらと」 ・粘土遊びの後に山崎古墳でお抹茶飲まない?
8日	一畑電車をTシャツに描こう!(担当:榎野麟・山口好) ・映画「BATADEN」の原画作りしてみない?・何事にもチャレンジ! ・場所 キャラリ「ミチル」・ミチル喫茶もあるよ
15日	笹巻き作り(担当:原鞆・伊藤好・土江継) ・場所 アトリエ「おちらと」・材料費300円 ・持ち帰りあり!
22日	お休みします
29日	河下海岸で魚釣りして遊ぼう!(担当:福田繪・土江継) ・水筒持参・釣竿ある人は持って来てね・餌は学園で準備 ※ごみ拾いも わんぱく学園ならではの…

※集合時間9時30分・集合場所文化館駐車場 [文責 土江和世]